

特長

主大学に4期間、外国連携大学（副大学）に1期間滞在する。

同年度に入学した本学およびIITGの学生は少なくとも8か月は共に学ぶ（□と□の部分）。

岐阜大学（GU）で実施する科目

IITGで実施する科目

主大学とする大学	1年次												2年次															
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
インド工科大学（IITG）					期間1 ・食品技術に関する科目を履修				期間2 インキュベーション期間 ・修士論文研究 ・留学準備				期間3 ・GUに滞在 ・食品科学に関する科目を履修 ・修士論文研究				期間4 ・修士論文研究				期間5 ・修士論文研究				学位審査		両大学合同学位審査	
共同開設科目					① 研究演習 ② GU学生 インドでインターンシップ								① 研究演習 ② IITG学生 日本でインターンシップ															
岐阜大学（GU）	期間1 ・食品科学に関する科目を履修 ・基礎科目受講 ・修士論文研究 ・留学準備 ギャップターム				期間2 ・IITGに滞在 ・食品技術に関する科目を履修 ・修士論文研究				期間3 インキュベーション期間 ・修士論文研究				期間4 ・修士論文研究				期間5 ・修士論文研究				学位審査		両大学合同学位審査					
	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7
	1年次												2年次															

（補足）開講初年度の本学期間1では本学学生のみが科目を履修するが、2年目以降の本学期間1において本学学生は前年度入学のIITG学生と共に学ぶ。岐阜大学学生における期間1は、岐阜大学とIITGの間の学年歴のずれに基づく「ギャップターム」に相当するが、留学準備を行う期間として活用する。

ジョイントディグリープログラム（修士課程）の履修モデル

カリキュラムポリシー

- ① 連携を組む両大学の強みを活かした相乗的な教育内容（食品に関する科学と技術を学ぶ）
- ② デザイン思考を取り入れた研究リテラシーの導入と修士論文研究の共同指導
- ③ 日印双方向留学への配慮（日印の学生が両国で共に学ぶ）
- ④ 異文化や日印双方の産業界の理解（国際的対応力を養う）

岐阜大学（GU）で実施する科目

IITGで実施する科目

進路

インド工科大学入学学生

岐阜大学入学学生

化学工学・生物工学分野

生物科学分野

